令和５年度事業計画

― 済生会新潟県央基幹病院 ―

令和５年度事業計画

＜病院の理念、基本方針＞

１　理念

県央を日本の地域医療のモデルに　～常に変化と成長を～

２　使命

県央地域の患者は県央で診る　～地域と共に地域の医療を守りぬく～

３　基本方針

(1) 地域の中核病院として救急医療・高度医療・災害医療を担い、地域の命を守ります
(2) 地域の保健・医療・福祉施設と共に住民の健康を支えるまちづくりに貢献します
(3) 専門的な知識・技術に加え、幅広い視野を持つ医療人を育成します

＜令和５年度　事業方針＞

圏域内の公立・公的５病院が、急性期機能を担う中核病院と後方支援機能を担う地域密着型病院に機能再編され、燕労災病院と三条総合病院の統合により中核病院として済生会新潟県央基幹病院が整備されました。

当院は、救急医療をはじめとした急性期医療・入院医療に重点化するとともに、隣接医療圏との連携強化により、地域の医療機関とともに県央医療圏の地域住民が救急医療に困らない、高齢者が地域で生活できる医療提供体制の再構築を主体となって進めます。

１．県央医療圏を中心とし、地域住民が救急医療に困らない、高齢者が地域で生活できる体制の再構築

○　地域医療構想が目指す高度急性期・急性期の集約、周辺医療機関との機能分担を図る中で地域医療の中心を担い、地域の医療機関及び自治体と共に医療提供体制の再構築の主体となります。

○　救急医療を中心とした、各医療提供体制を維持・確保するために医療従事者等の働き方改革を推進します。加えて、働く職員の個々の事情に応じ、多様な働き方を提供できる病院を目指して、より良い労働環境を整備します。

２．医療連携を通じて、機能分担と連携強化による地域住民・患者が安心できる医療提供体制の構築

○　県央医療圏を中心とした地域の医療機関・地域住民に当院の方針と役割を示し、理解いただくとともに逆紹介を推進し、県央基幹病院医師と地域の医療機関の医師との連携を進めます。

○　県央医療圏における慢性的な医師不足の改善を図ると共に、地域密着型病院との連携を強化するために当院の医師との診療支援や連携強化を推進します。

３．県央医療圏を中心とした地域医療等を担う「医療人」の育成

○　人材育成・開発部門にて、医療を支える人材育成に注力すると共に、県央地域から人材輩出できるよう県央地域内の他の医療機関等と協力して充実した教育体制を整備します。

４．街づくり、健康づくりへの参画

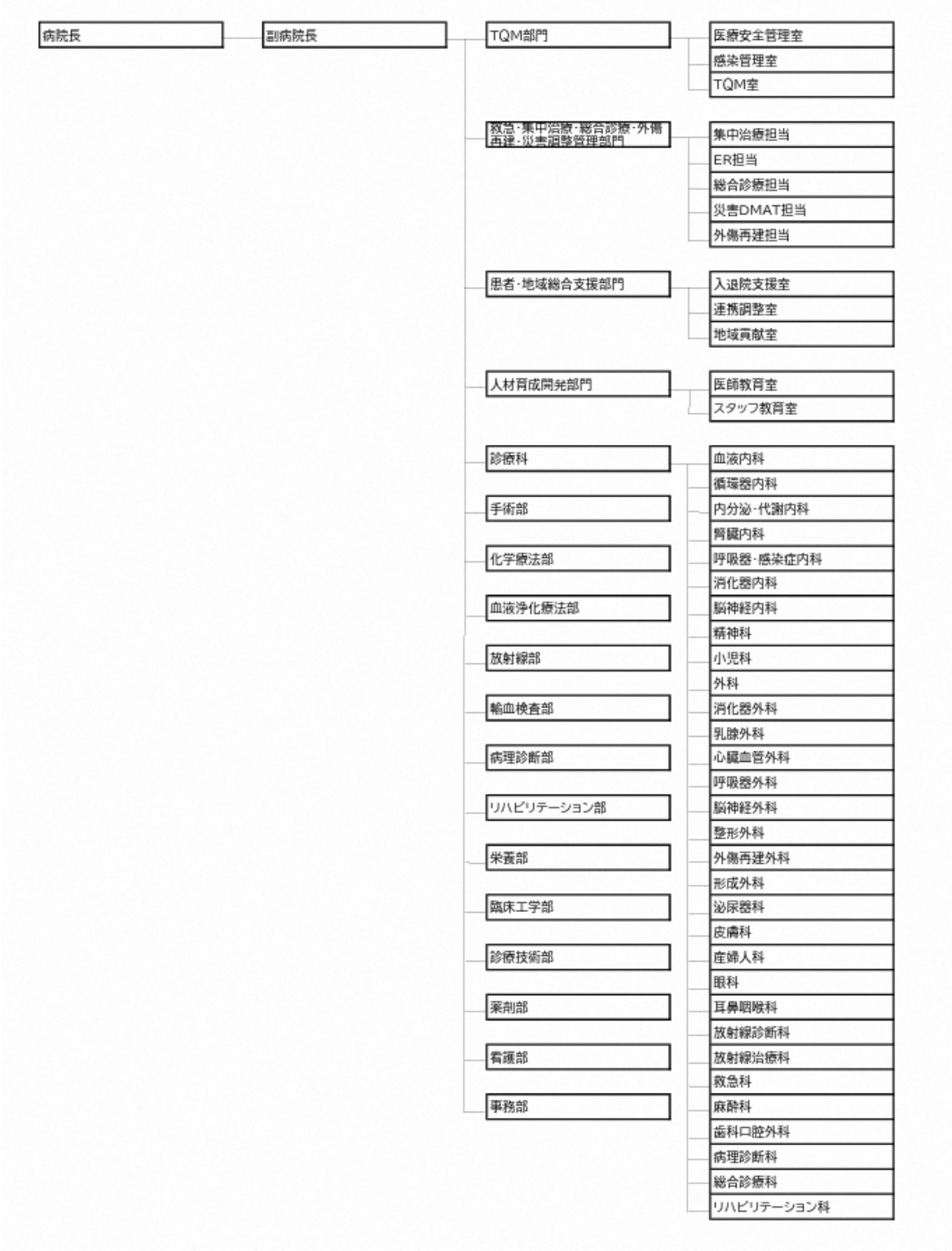
○　地域の各医療機関に向けて、各医療機関の職員が行う病気の予防や発症後のケア、救急隊や後方支援病院等との連携活動、カンファレンスや学会の開催・参加等を支援します。

５．医工連携への取組み

○　ものづくりの街燕三条地域で、世界ブランドである燕三条の金属加工業と当地域に立地する当院との間で新たな医療関連製品を開発するという方向性のなか、三条市立大学はじめ産業界と連携します。

1　病院の基本情報

(1) 病院の組織図



・　特徴的な４部門

○　TQM 部門

TQM（Total Quality Management）とは、全員・全体（Total）で、医療・サービスの質（Quality）を、継続的に向上させる（Management）ことです。医療の質を管理することで、患者が安心して安全な医療を受けることができる環境を整える活動です。済生会新潟県央基幹病院では職員一人ひとりがこの活動に参画し、医療の質向上のために職員一丸となり取り組みます。

○　救急・集中治療・総合診療・外傷再建・災害調整管理部門

ER（救急外来）、重症系病床、総合診療、外傷再建の他、RRS チーム（院内迅速対応チーム）等を一元的に管理・運営することにより、病院内外で発生する急性期患者、他の医療機関で対処出来ない高度な診断と治療を必要とする患者に対し、24 時間体制で初期診療ならびに集学的治療を行います。加えて、発災時には初期救急医療体制の充実強化を図る災害拠点病院としての役割を果たし、平時より準備や訓練を行います。

○　患者・地域総合支援部門

地域の医療機関・施設からの紹介患者の受診から入院、退院後の生活まで、安心した療養が受けられるように患者サポートセンターを通じ職員が協働して、最良の医療が提供出来るように支援します。また、適切な病床管理も担います。

○　人材育成開発部門

高度急性期医療を中心とした救急医療、周産期医療や政策医療をはじめ、高度で安全安心な医療を提供していく役割と健全な病院経営を確立し、病院を持続発展させていく役割があります。済生会新潟県央基幹病院の理念を踏まえ、病院の役割を担うことができる職員を育成することを目的として、職員としてあるべき姿「目指す職員像」を明らかにし、その姿を実現するための人材育成・開発に取り組みます。

(2) 病床数

許可 400 床、稼働 400 床（10 病棟）

	4A（一般）	4B（ICU/HCU）	5A（一般）	5B（一般）	6A（一般）	6B（一般）	7A（一般）	7B（一般）	8A（一般）	8B（一般）	計
許可病床数	42	20	45	40	43	44	38	43	43	42	400
稼働病床数	42	20	45	40	43	44	38	43	43	42	400

(3) 診療科（常勤医師数）

（単位：人）

診療科	医師数	診療科	医師数
循環器内科	3	消化器内科	5
呼吸器・感染症内科	4	腎臓内科	4
血液内科	0	代謝・内分泌内科	1
脳神経内科	3	精神科	0
小児科	0	救急科	4
消化器/一般外科	7	歯科口腔外科	2
脳神経外科	2	総合診療科	4
外傷再建外科	1	整形外科	4
泌尿器科	0	皮膚科	0
産婦人科	0		
耳鼻咽喉科	0		
放射線科	1		
麻酔科	3		
病理診断科	1		
リハビリテーション科	0		
眼科	0	計	49

※　令和６年３月１日予定。
※　整形外科に病院長を含む。臨床研修医を除く。
※　血液内科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、精神科は大学等からの応援医師による診療を実施。

２　診療・経営の質の向上

(1) 外来・入院患者数（目標）

1 日当たり患者数　　（単位：人）

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
外来	350.0	660.6	662.7	700.0	700.0	700.0
入院	100.0	321.6	340.8	360.0	360.0	360.0

(2) 診療機能の維持・充実

ア 基本的な考え方

県央医療圏の地域密着型病院を中心とした各病院、診療所、介護・福祉関連施設、行政と連携し、県央地域全体の医療再編が進むよう、この地域の患者を「この地域で診察し、治療し、社会復帰へとつなげる医療」を守り続ける体制を整備します。

イ 主な医療の対応

(ｱ) 救急医療／総合診療

県央圏域における救急医療の重要な役割を果たしていくため、県央圏域内外の医療機関と連携し、救急患者を主とした受入れを継続していきます。また、救急科と総合診療科を強化・充実し、救急医療体制の段階的な整備・充実を図ります。

(ｲ) がん医療

がん患者に対する放射線治療を、県央圏域で唯一担っている病院としての強みを活かすほか、周辺医療機関等と連携し、がんの早期発見から手術、放射線治療に至る集学的治療を行います。

(ｳ) 循環器医療

循環器内科の診療体制などの強みを活かし、心筋梗塞や狭心症等の循環器疾患に対応していきます。

(ｴ) 呼吸器/感染症医療について

呼吸器・感染症内科の診療体制の強みを生かし、流行性感染症等の呼吸器疾患に対応していきます。

(ｵ) 脳卒中・神経難病に関する医療

神経内科、脳神経外科の連携体制の強みを活かし、脳卒中の急性期や神経難病の治療などに対応していきます。

(ｶ) 外傷等に関する医療/整形外科・外傷再建外科

整形外科に加え、外傷再建外科の専門医を配置する診療体制の強みを活かし、外傷等に関する医療を提供していきます。

(ｷ) 透析医療

慢性腎不全患者への血液透析（夜間透析を含む。）を中心に、急性期疾患患者への血液透析濾過等の治療も担っていきます。

(ｸ) 消化器疾病について

消化器内科、消化器外科体制の強みを活かし、内視鏡検査、手術等、急性期治療などに対応していきます。

(ｹ) 乳腺診療について

乳腺外科の診療体制の強みを活かし、専門外来を開き適切な医療提供に努めます。

(ｺ) 手術機能

県央圏域の公立･公的５病院おける手術機能が集約されたことにより、高度医療を提供する重要な役割を果たします。

ウ 地域連携

(ｱ) 地域連携体制の強化

周辺医療機関の訪問や地域医療連携部門合同会議、相互セミナーの開催等による関係づくりなど、地域医療連携体制を強化し、紹介・逆紹介の促進などに取り組んでいきます。

(ｲ) 地元自治体等との連携等

地元自治体等とのタイアップによりスタートした乳がん検診の拡充、地域住民への疾病に関する啓発活動などにより、地域貢献や地域住民へのＰＲを進めていきます。

3 人材の確保・育成・教育

(1) 職員配置

令和6年3月1日予定　　（単位：人）

No	職種	職員数（常勤・非常勤）		
		常勤数	非常勤数	合計
1	医師	47	1	48
2	歯科医師	2	0	2
3	看護・助産	340	17	357
4	准看護師	3	1	4
5	薬剤師	17	0	17
6	臨床検査技師	30	0	30
7	診療放射線技師	23	0	23
8	臨床工学技士	15	0	15
9	救急救命士	2	0	2
10	理学療法士	17	0	17
11	作業療法士	7	0	7
12	言語聴覚士	5	0	5
13	管理栄養士	7	1	8
14	視能訓練士	3	1	4
15	歯科衛生士	4	0	4
16	社会福祉士	12	0	12
17	事務総合マネジメント職	40	17	57
18	労務	1	0	1
19	看護補助	17	4	21
20	調理師	0	2	2
21	保安	0	0	0
計		592	44	636

※　医師に病院長を含む。臨床研修医を除く。

(2) 人材確保

【医師・看護師の確保】

○　医師確保については、タスクシェアやタスクシフトの推進、働きやすい環境を整備していくとともに、魅力的な教育研修環境づくり、病院医師による病院の魅力発信、県内外の大学・病院と専門研修連携（人事交流）の取組を一層進めます。

＜県央基幹病院の常勤医師数＞　　令和６年３月１日時点

診療科	医師数	診療科	医師数
循環器内科	3	消化器内科	5
呼吸器・感染症内科	4	腎臓内科	4
血液内科	0	代謝・内分泌内科	1
脳神経内科	3	精神科	0
小児科	0	救急科	4
消化器/一般外科	7	歯科口腔外科	2
脳神経外科	2	総合診療科	4
外傷再建外科	1	整形外科	4
泌尿器科	0	皮膚科	0
産婦人科	0		
耳鼻咽喉科	0		
放射線科	1		
麻酔科	3		
病理診断科	1		
リハビリテーション科	0		
眼科	0	計	49

※　整形外科に病院長を含む。臨床研修医を除く。

○　看護師等の医療スタッフ確保については、病院の魅力を伝えるＰＲを実施（メルマガ配信、ホームページ作成、募集イベントの開催、ＴＶ・新聞・市町村ホームページ等の広報媒体の活用等）の実施、養成校訪問及び養成校主催説明会への参加等に取り組みます。

【臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保】

○　基幹型臨床研修病院の指定を受けていることから、自院の臨床研修医採用に取り組みます。

　今後、県央地域の医療連携体制を活かした魅力ある教育研修環境整備に向けて検討を進めます。

○　新潟大学医歯学総合病院をはじめとした基幹型臨床研修病院の協力型病院としても積極的に臨床研修医の受入れに取り組んでいきます。

○　県央地域における医療スタッフの人材育成に向け、県央基幹病院は基幹型臨床研修病院や専門研修基幹施設（内科、総合診療科、救急科）の指定を受け、人材育成開発部門を中心に、医学生、臨床研修医、専攻医の受入れに取り組むとともに、地域全体を活用した教育研修機能の確保にも力を入れていく体制構築を目指していきます。

＜医師確保の取組＞

・基幹型臨床研修病院及び各科専門研修基幹施設として、研修医、専攻医、専門医へ繋がる県央地域の医療連携体制を生かした魅力的な教育研修環境づくりの提供
・病院医師による医学系学会参加等を通じた病院の魅力発信による全国を対象とした医師確保
・県内外の大学、病院と専門研修連携（人事交流）を通じた専攻医確保　等

(3) 職員の育成

教育研修病院として、医師をはじめ医療スタッフの育成を重点として、人材育成開発部門を中心に各部門と連携し、県央基幹病院に関わるすべての人に学びと成長の場を提供できるよう、医療人の育成に取り組みます。

＜教育研修機能の充実＞

・医師：基幹型臨床研修病院
　　専門研修基幹施設（内科、救急科、総合診療科）

(4) 教育

人材育成開発部門を中心に、各部門と連携し医療人の育成に貢献します。そして、済生会新潟県央基幹病院に関わる全ての人に、学びと成長の場を提供できるよう、人材開発と多職種連携による良質な医療の提供を目指します。

4 経営強化への取組

(1) 基本的な考え方

急性期患者の受入れを中心とし、患者数の確保、診療単価の向上による入院診療収益の確保に重点を置くとともに、費用の抑制に努め、経営改善に取り組みます。また、事業の継続を維持する為、予実管理、日々の入院患者数、平均在院日数等の重要な経営情報を意思決定会議においてタイムリーに共有し、随時対策を検討していきます。

具体策として、施設基準の向上、各種委託契約及び保守契約の管理、医療材料・薬品などのコストの適正化を図り「医療の質の維持・向上」による経営強化に取り組みます。

(2) 収益の確保

○　紹介患者の確保（患者数増、手術増など）

総合診療科、救急科との連携を図り、新患等の受入体制の充実に努めていきます。また、県央圏域の医療環境変化などを踏まえつつ、患者サポートセンターを中心に、開業医や関連病院等との関係づくりを進めながら、手術患者等の紹介患者の確保に努めていきます。

○　診療報酬確保の取組み

医師確保及び診療実績の蓄積等に伴う新たな診療報酬獲得に向けた対応を検討します。

(3) 費用の節減

○　給与費の抑制

患者数や労務環境を踏まえつつ、柔軟な人員配置に努めるほか、働き方改革も進められる中で、業務等の見直しによる時間外勤務の抑制にも取り組んでいきます。

５ 目標管理

事業方針に沿った病院運営を行うため、経営指標を踏まえつつ、進捗管理や対策の実行に取り組んでいきます。

Ｒ５年度

１日あたり入院患者数：100
１日あたり外来患者数：350
入院患者１人１日当たり診療収入：59,555
外来患者１人１日当たり診療収入：27,314
平均在院日数：12.0

６ 施設管理

(1) 病院施設・設備等

ア 管理施設の内容

県との基本協定に基づき、次の施設の管理を行います。

種類	構造	延面積（㎡）
病院	鉄筋コンクリート造	45,389.64

イ 主な利便施設

施設	運営業者	設置場所	営業日	営業時間	契約期限
売店	㈱ローソン	１階	年中無休	平 日 ７：４５～１９：００ 土日祝 ８：００～１８：００	2032 年 2 月末
一般店舗の販売ほか、雑誌・書籍、介護・福祉用品の販売、郵便サービスも実施。					

ウ 管理方針

令和 5 年 12 月に竣工を迎えたばかりであり、診療環境や感染防御の観点から必要とされる修繕を随時実施し、病院機能の最適化と機能維持に努めます。

(2) 主な外部委託等

主な業務名・概要	事業者	業務委託期間
患者給食業務	**日清医療食品株式会社**	**2024.3.1~2027.3.31**
入院患者に対する患者給食提供業務の委託。		
医療事務業務	**株式会社メディカスタッフプロモーション**	**2024.3.1~2027.3.31**
医療事務（患者受付、診療費の計算、診療報酬請求等）の委託。		
病棟看護補助業務（派遣）	**株式会社メディカスタッフプロモーション**	**2024.3.1~2027.3.31**
病棟における看護業務の補助を行うための人材派遣業務。		
滅菌、手術室補助業務	**ワタキューセイモア株式会社**	**2024.3.1~2027.3.31**
医療器材、器具、衛生材料等の滅菌洗浄及び手術室補助業務の委託。		
寝具等賃借、リネン洗濯業務	**ワタキューセイモア株式会社**	**2024.3.1~2027.3.31**
患者が用いる寝具類の賃借及び、洗濯業務の委託。		
医薬品・医療材料SPD業務	**DALI株式会社**	**2024.3.1~2027.3.31**
診療材料、日用品及び医療消耗品、医薬品等に係る院内物流管理業務の委託。		
廃棄物収集運搬及び処分業務	**株式会社三南環境サービス**	**2024.3.1~2027.3.31**
廃棄物の収集運搬及び処分業務の委託。		
駐車場管理業務	**日本パーキング株式会社**	**2024.3.1~2029.3.31**
病院敷地内駐車場における管理業務の委託。		
総括管理業務	**株式会社新潟ビルサービス・イオンディライト株式会社**	**2024.3.1~2027.3.31**
統括管理業務（建物清掃、施設管理、警備、電話交換業務）の委託。		